

2015年(平成27年)  
2月12日  
木曜日

経済4面  
国際7.8面  
スポーツ13面  
科学15面/小説15面  
囲碁将棋21面  
ファッション23面  
生活24面  
地域27面/教育29面  
TVラジオ19.21.32面

朝日新聞大阪本社

〒530-8211 大阪市北区中之島2-3-18  
電話:06-6231-0131 www.asahi.com



# 食用ゲル化剤投下 空から着実に消火

## 鳥大と県内企業が実験公開

林野火災の安全で効率的な。消火実験が11日、大学航空消火方法を、鳥取大と構内で公開された。散水の県内企業が共同で開発中。代わりに、食用のゲル化剤



①ヘリから投下されるゲル状消火剤②ゲル状消火剤。いずれも鳥取市湖山町南4丁目



を使った「ゲルパック」を投下するのがポイントだ。水分を含むと100倍になるゲル化剤を、寒天で知られる伊那食品工業(長野県)に開発してもらった。粉末で1kg、水を含んで約100gのパックにした。投下するときの風向きや風力を計算して命中率を上げるシステムも開発中だ。

昨年度から電気自動車関連会社「イルカカレッジ」(米子市)と連携し、実用化をめざす。朝山規子社長によると、航空機での散水消火は高い高度だと霧状になって効果が下がり、低いと航空機事故の危険が増すという。

この日は模擬現場に上空約50mから消防ヘリで投下、3回目で鎮火した。開発責任者の松原雄平・工学研究科教授は「地上と上空の連携など課題はあるが、消火剤の散らばり方は期待通り」と話した。12日もクレーン車を使って実験する。(古源盛一)